

# 「ベーシックインカムで日本を変えよう ——成長幻想から仏教経済学へ」

お 話：関 曠野さん

日 程：2013年12月8日(日)

時 間：午後2時～4時30分終了予定

開場：午後1時30分より

会 場：仁和寺 御室会館 大広間

(京都市右京区御室大内 33 tel.075-464-3664)

<http://www.ninnaji.or.jp/syukubou/>

入場料：500円

申込み：不要

マネーを動かす者がすべてを動かす！

現代国家は、銀行が影の政府として統治している金権国家です。  
ですから、民主主義も形骸化します。

真の民主主義に転換するためには、

すべての国民に経済生活に関与し参加する  
経済的市民権を与える経済的民主主義でなければなりません。

そのためのプランはすでに存在しています。

今回の講演では政府通貨を発行して

すべての国民にベーシックインカムを支給するための

具体的な構想が提起されるでしょう。

また、日本では、経済的民主主義は  
仏教の精神をよりどころにすべきではないかとも問い合わせます。

銀行マネーの矛盾で経済が破たんしつつある今、

抽象論ではないベーシックインカムと通貨改革の議論をしましよう。



プロフィール  
関 曠野さん



1944年生まれ。評論家（思想史）。共同通信記者を経て、1980年より在野の思想史研究家として文筆活動に入る。思想史全般の根底的な読み直しから、幅広い分野へ向けてアクチュアルな発言を続けている。著書に『プラトンと資本主義』、『ハムレットの方へ』（以上、北斗出版）、『野蛮としてのイエ社会』（御茶の水書房）、『歴史の学び方について』（窓社）、『みんなのための教育改革』（太郎次郎社）、『民族とは何か』（講談社現代新書）、『フクシマ以後—エネルギー・通貨・主権』（青土社）などがある。また訳書に『奴隸の国家』ヒレア・ペロック（太田出版）がある。現在、ルソー論（『ジャン=ジャックのための弁明—ルソーと近代世界』）を執筆中。